

(公社)全日本トラック協会青年部会
平成27年度第3回全国代表者協議会開催について

(公社)全日本トラック協会青年部会は、平成28年2月11日(祝・木)に「平成27年度第3回全国代表者協議会」を開催した。

今年度3回目の開催となる今回は、「次なるステージへ向けて挑戦!!」をテーマに全国の青年組織の代表ら56名が参加。第1部の研修会では、笠原部会長の挨拶の後、(株)コヤマ経営 代表取締役 小山雅敬 殿が「長時間労働抑制に向けて」をテーマに講演を行った。続いて、小山講師の講演を踏まえ、参加者が8グループに分かれ、「長時間労働抑制に向けた荷主との取り組みについて」(A班4グループ)、「長時間労働抑制に向けた社内での取り組みについて」(B班4グループ)をテーマにグループディスカッション・発表を行い、小山講師が各グループの発表を総括した。
(班別のディスカッション発表概要を別掲のとおり)

さらに、「青年組織のあり方について」をテーマに参加者が自由討議を行った。

最後に協議事項として、平成27年度青年部会業務報告、平成28年度青年部会事業計画案について協議を行った。

第2部の交流会では、各参加者がヒューマンネットワーク構築に向け、交流を深めた。



挨拶を行う笠原部会長



小山講師による講演



班別にグループディスカッションを行う参加者ら



発表の様様



「青年組織のあり方」について自由討議を実施



全国の青年組織代表者ら56名が参加

～班別のディスカッション発表概要～

A班（「長時間労働抑制に向けた荷主との取り組みについて」（4グループ））

班名	要因と課題	対策
A-1	<ul style="list-style-type: none"> ・生産待ち、納品先の都合、物流センターの容量オーバー等により長時間の待機が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主への交渉を根気よく行う（手待ち時間が労働時間に含まれることの理解、労働時間に関する行政処分の理解、手待ち時間分を運賃に転嫁してもらう） ・単一事業者では交渉が難しいため、業界で一致団結して行政へアプローチを行う
A-2	<ul style="list-style-type: none"> ・手待ち時間、長距離輸送、人員不足、特定荷主への依存度が高いため長時間労働が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主との交渉（現場を一緒に見る、荷主との会議で報告、積み時間の変更） ・高速道路利用、ツーマン運行、車両の大型化 ・運賃交渉による賃金アップ ・特定荷主への依存度を下げる
A-3	<ul style="list-style-type: none"> ・天気・道路状況等の外的要因に左右 ・荷主都合による待ち時間、付帯作業発生（荷主の問題意識の欠如） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな輸送方法の提案 ・行き過ぎた顧客ニーズには対応しない ・業務のワークシェアを実施 ・荷主に問題点を伝える
A-4	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主の労働時間に対する認識不足 ・荷主都合による手待ち時間が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善基準告示の理解徹底 ・荷主側が配車管理できるよう調整する ・適正運賃收受

B班（「長時間労働抑制に向けた社内での取り組みについて」（4グループ））

班名	要因と課題	対策
B-1	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離輸送、手待ち時間、人員不足、給与体系、備車不足、ドライバーの意識変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事によるシフトから人、時間によるシフトへ変更 ・原価計算により不採算な荷主から撤退 ・評価制度の導入 ・WebKITの活用 ・託児所開設
B-2	<ul style="list-style-type: none"> ・荷主都合により待機、長時間労働が発生 ・ドライバーによる任意の早出 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員増員、高速道路利用、役所へのお願い、 ・ドライバー、管理者教育の徹底 ・正確な情報の確保・伝達 ・荷主の選別
B-3	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離輸送 ・低運賃 ・多納品先 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会社、同業者間の連携、ネットワークの活用 ・デジタルタコグラフの活用 ・運賃交渉（往復分運賃徴求）
B-4	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足、低運賃 ・付帯作業 ・効率の悪い配送ルート、システム ・ドライバーの長時間労働に対する意識の薄さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路の利用 ・過度なサービスを無くす ・作業の分担、人員増員 ・システム導入により効率化 ・社員教育（長時間労働に対する意識向上）